

1 単元名 私たちの町 おゆみ野

2 単元の目標

おゆみ野の町と他地域を比べる活動を通してそのよさに気付き、おゆみ野の町づくりには様々な人の願いや思いが込められていることを知る。また、おゆみ野の町への誇りをもちながら、さらに町をよりよくしようという気持ちを高めることができる。

3 単元について

(1) 単元における探究課題・育成を目指す資質・能力

＜探究課題＞ 地域に住む人々の思いと地域の未来		
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
<ul style="list-style-type: none"> ・地域には住んでいる人の思いや歴史があり、地域には誇れる「人」「もの」「こと」があることがわかる。 ・自分たちがおゆみ野と深い関わりがあり、働きかけによってこの町がもっとよくなったり誇れるようになったりすることがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目指す姿に向かって、課題や毎時間の活動でやるべきことを見つけることができる。 ・さまざまな手段を使って情報を収集し、集めた情報を整理して大事なところや方向性を見つけることができる。 ・表や図、絵、写真などを活用し、相手や目的、場に応じた効果的な表現ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町の特色やよさを知り、これからのおゆみ野の町についての自分の見方・考え方を見つめ直すことができる。 ・友達と役割分担や意見交換をするなど、力を合わせて活動することができる。 ・町に誇りをもち、地域の人とのつながりを大切にしながら生活することができる。

<p>児童の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明るく活発で、一生懸命に取り組むことのできる子が多い。 ・多くの児童が小さい頃からおゆみ野で生活してきているが、おゆみ野の町が計画されて作られた町だということや、町のよさについての知識は乏しい。 ・新しくできた町で、保護者や地域住人も昔から住んでいるという人が少ないため、地域のつながりが弱い。児童もおゆみ野への愛着はあるが、町の取り組みに進んで参加したり作っていったりしようという意識はあまりない。
--

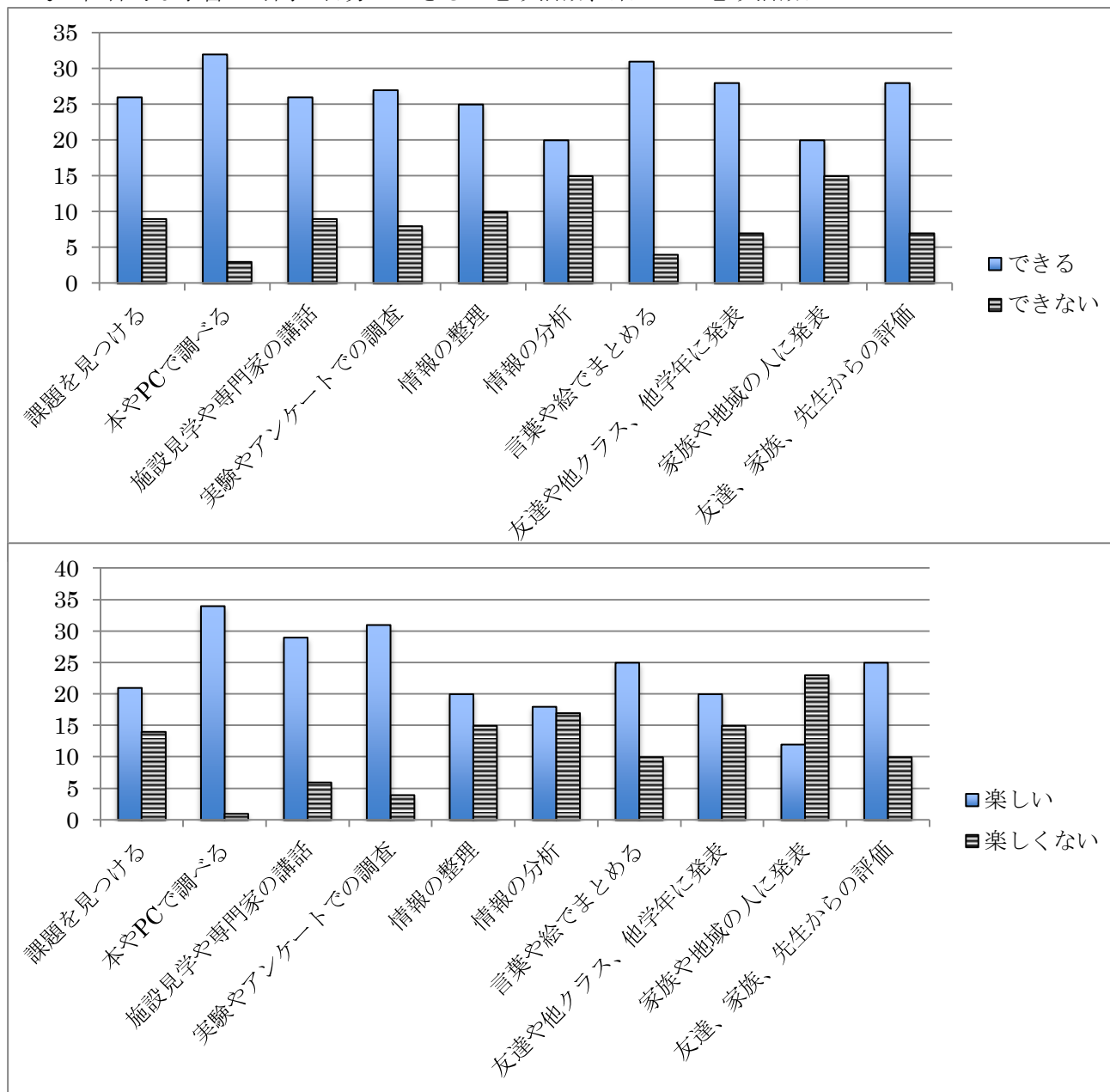
<p>地域の材について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町ができて、まだ10数年の歴史であり、地域のつながりが弱い。 ・町の様々な場所に、古墳や遺跡跡が残されている。 ・遊歩道や公園が多くあるなど、安全性や利便性等、計画的に開発された町である。 	<p>教師の願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町のよさについて調べ、これからのおゆみ野について考え、よりよい町にしていこうとする姿を育てていきたい。 ・探究的な学習の流れや意図を確認しながら、それぞれの楽しさを実感できるように話し合いの場の工夫や思考ツールの活用などをして、児童が主体的に活動できるようにしていきたい。
---	---

(2) 児童の実態

Q. 総合的な学習の時間は好きですか？

好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば嫌い	嫌い
9名 (26%)	20名 (57%)	5名 (14%)	1名 (3%)

Q. 総合的な学習の時間で自分ができると思う活動、楽しいと思う活動は？



総合的な学習の時間が「好き」「どちらかといえば好き」と回答した児童は83%で、17%が「どちらかといえば嫌い」「嫌い」と回答している。総合的な学習の時間に対する意欲は高いことがわかるが、楽しさを感じるものには、情報収集に対するものが圧倒的に高い。整理・分析や表現に対するものが低く、それに加えて苦手としている児童も多いことがわかる。

このような実態から、探究的な学習の流れや意図を確認しながら、それぞれの楽しさを実感できるように、単元構成や学習指導の工夫などをして、児童が主体的に活動できるようにしていきたい。

Q. あなたは、おゆみ野の町についてどう思っていますか？

好きでありよい町	好きだけど よい町ではない	好きではないけど よい町	好きではないし よい町ではない
32名 (91%)	2名 (6%)	1名 (3%)	0名 (0%)

Q. おゆみ野の町のいいところはどんなところだと思いますか？（複数回答可）

自然が多い(7名)	公園が多い(5名)	空気がいい(2名)
お店が近くにある(3名)	お店が多い(4名)	古墳が多い(1名)
安全(4名)	平和(6名)	静か(2名)
災害が少ない(1名)	道路が広い(1名)	信号やカーブミラーがある(3名)
学校が大きい(1名)	学校が新しい(1名)	プールがある(1名)
優しい人が多い(11名)		

Q. あなたは20年後もおゆみ野の町に住みたいと思いますか？

住みたい	どちらかといえば 住みたい	どちらかといえば 住みたくない	住みたくない
7名 (20%)	12名 (34%)	10名 (29%)	6名 (17%)
住みやすいから (5名) 友達や知り合いがいるから (3名) おゆみ野がいい町だから (2名) 生活に困らない お店が多いから		おゆみ野以外にも住んでみたい (9名) 都会へ行きたい お年寄りばかりになっていきそうだから おゆみ野は過疎化していくから	

おゆみ野の町への意識調査の結果を見ると、ほとんどの児童がおゆみ野の町を好きであり、よい町だと感じていることがわかる。しかしながら、おゆみ野の町のよいところで挙げた回答は、自然が多い、平和など、児童のもつイメージで回答したのではないかというものが多く、自分の住んでいる町だから好き、いい町だと答えたのではないかと考えられる。今後もおゆみ野に住みたいと感じる児童が多いからこそ、おゆみ野の町のよさをしっかりと理解してもらいたい。

また、戸建てが多く人の入れ代わりの少ない地域であることから、だんだんとおゆみ野の町は高齢化していくのではないかと、現状を捉え今後の課題に目を向けられている児童もいた。この学習を通して、自分たちの住む町のよさを知り、町を誇りに思う気もちを育てていくと同時に、これから自分たちがどんな町にしていきたいかを考えられるようにしていきたい。

4 研究主題に向けての視点

視点1 なりたい自分・目指す姿を意識した単元構成の工夫

○過去→現在→未来での時系列を生かしたサイクル

これからのおゆみ野について考えを深めるためにも、第1サイクルでおゆみ野の昔、第2サイクルでおゆみ野の現在、第3サイクルでおゆみ野の未来へと移行していく流れがよいと考える。

第1・2サイクルでは、おゆみ野のよさについて調べていく。第3サイクルでは、第1・2サイク

ルでの学習を踏まえて、これからのおゆみ野がどうあるべきかを考えられるようにしていきたい。

過去、現在、未来の時系列を生かすことでサイクルどうしのつながりが生まれ、児童の興味関心や思考もより深まったり、目指したい姿が明確になったりすると考える。

○おゆみ野の町に関わる外部の人材活用

学校周辺の施設やそこに関わる人、地域に住む人との関わりをもった活動を設定し、生の情報を得ることで、児童が主体的に課題に取り組めるようにしていきたい。おゆみ野の町づくりに関わる人たちの思いを直接知る活動を通して、児童がおゆみ野の町のよさをより実感し、町を誇りに思う気持ちが高まっていくと考える。

本校では社会科の学習に関連して、地域の埋蔵文化調査センターに校外学習で訪れている。第1サイクルの情報収集の場面では、埋蔵文化調査センターの職員の方とおゆみ野の地域にある古墳や遺跡を実際に見て回ったり、遺跡や古墳を守ってきた人たちの思いを聞いたりしていきたい。

本やパンフレット、PCからの情報だけではなく、地域の人や地域の材との関わりをもつことで、より深い学びを得ることができると考える。また、これからのおゆみ野の地域とのつながりを強めることにもなるだろう。

視点2 主体的・対話的で深い学びを生む学習指導の工夫

○学年間、全校・地域を意識した表現活動

学年内で、「おゆみ野を誇る」というテーマは共通しているが、第2サイクルのおゆみ野のよさについて情報収集する場面や、第3サイクルの課題を見つけ実践していく場面では、児童の興味関心に合わせて、グループやクラスごとに材を変えて活動を行っていく。そのため、知識や学び、気付きの内容、また、表現方法も変わってくるので、学年内で交流し合う場を設定し、おゆみ野の町に関する幅広い知識を得られるようにしていきたい。

第3サイクルのおゆみ野のこれからについて考える場面では、地域との関わりをもつために自分たちにはどんなことができるか、また、自分たちの考えを実践してみたいと考えるだろう。そこで、地域に住む人々と積極的に連携し、それぞれの課題に合った表現方法を考え、実践できるようにしていきたい。

視点3 変容が実感・認識できる評価の設定

○単元および小单元ごとに身に付けてもらいたいことを示した規準と評価基準の設定

児童には、単元および小单元ごとに身に付けてもらいたいことを示した自己評価を行う。これを行うことで、児童は単元全体を通してだけでなく、各活動においてのめあての指針となり、力の向上に向けて努力したり、成果を振り返る中で自己への自信につながったりするはずである。また、友達や教師からの見る視点も定まり、より児童が変容を実感・認識できる声掛けや賞賛ができるようになると考える。

また、単元の評価規準をもとに各サイクルごとの評価基準を作成し、各サイクルの初めに児童に示す。明確な評価基準を示すことで、児童が目指すべき姿を理解し、目標を設定することができるだろう。毎時間の振り返りの時間（リフレクションタイム）の際には、評価基準を参考にその日の活動を自己評価する。各サイクルの終わりには、活動ごとに振り返った評価基準と記述内容に基づいて自己

評価を行う。振り返りの際の記述内容や基準の評価をもとに自己評価していくことで、より確かな成長を実感できるようにする。

○リフレクションタイムの設定

毎時間の終りに、その日の学習を通してわかったことや気付いたことなどを振り返りとして書くリフレクションタイムの時間を設ける。また上記でも記述したように、リフレクションタイムの中で評価基準を用いてのその日の活動の自己評価も行う。時間を設けて全員が一斉に振り返りを書くことで、集中してその日の学びを振り返ることができると思う。毎時間その日の学習を振り返ることで、学習を進めていく中でのテーマに対する自分の学びの深まりに気づきやすくなるだろう。

毎回の振り返り用紙はファイルに保存していき、サイクルのまとめのときなど、定期的に振り返りに自分が書いたものを見返すことができるようにする。サイクルのまとめの時には、リフレクションタイムで記述した内容や、評価基準をもとにした自己評価を生かしてサイクルごとの自己評価へとつなげられるようにする。そうすることで、サイクルごとや1年間を通しての学びの変容に児童自身が感じることができるだろう。

5 単元構想（70時間）

次	主な活動内容	外部連携	活動形態	他教科横断・合科
①おゆみ野の町の昔について知ろう	○課題設定1 ・全校遠足や埋蔵文化財調査センターでの経験を振り返り、おゆみ野の町に目を向ける。	埋蔵文化調査センター	クラス	社会「縄文のむらから古墳のくにへ」
	○情報収集1・整理分析1 ・おゆみ野の町に残されている遺跡や古墳について調べる ・時代ごとのおゆみ野の変化 ・おゆみ野にある遺跡や古墳を守って来た人々の思い	埋蔵文化調査センター	クラス グループ	社会「縄文のむらから古墳のくにへ」 道徳「白神山地」
	○まとめ表現1 ・おゆみ野には多くの遺跡や古墳が残されており、それらを生かした町づくりがされていることがわかる		グループ	国語「グループで話し合おう」
②おゆみ野の町のよさについて調べよう	○課題設定2 ・同じニュータウンである印西市がおゆみ野の町と似ていることに気付く。 ・住みよい町とはどんな町かを考える。		クラス	
	○情報収集2－(1) ・印西市の町づくりについて ・課題設定2で出た指標をもとに印西市について調べる	印西市役所	個人 グループ	

	○整理分析2－(1) ・印西市のよさの整理		個人 グループ	
	○情報収集2－(2) ・指標をもとにおゆみ野のよさを調べる ・おゆみ野の町づくりの計画 ・お家の人におゆみ野に住もうと思った理由を聞く。	千葉市役所 おゆみ野の歴史を知る会 おゆみ野南警察 不動産会社 長徳寺	個人 グループ	国語「心を見せる言葉」
	○整理分析2－(2) ・印西市のよさと比較しながら、おゆみ野の町のよさの整理・分析		個人 グループ	国語「未来の自動車」
③おゆみ野の町への誇りを持ち、町のこれからの考えよう	○課題設定3 ・おゆみ野の町のこれからの目を向け、町の課題や町をよりよくする方法がないか考える。	・篠原さん(おゆみ野地区自治会長)	クラス	道徳「空きかんのゆくえ」
	○情報収集3－(1) ・おゆみ野の町の課題は何かを調査 ・それぞれの課題から、よりよくする方法や、今後どうしていくべきかを考える。	・セーフティウォッチ ヤーさん	クラス グループ	道徳「せんばいの心を受けついで」
	○整理分析3－(1) 本時 ・課題をもとに、自分たちにできることやより良くするための活動について話し合う。		クラス	国語「君へ」 「二十一世紀に生きる君たちへ」
	○情報収集3－(2) ・交流会に向けて必要なものやことは何かを調べる。		グループ	
	○整理分析3－(2) ・交流会でどのような活動があるとよいか地域の人に意見を聞いたり、地域の人との関わりを持てるような活動になっているかを話し合ったりする。	・デイサービス ・セーフティウォッチ ヤーさん ・南幼稚園 ・すきっぷ保育園 ・保護者	クラス グループ	
	○まとめ表現3 ・交流会に向けての準備 ・交流会を行う。 ・交流会を行っての成果と課題を話し合い、今後につなげられるよう、改善策を考える。	・デイサービス ・セーフティウォッチ ヤーさん ・南幼稚園 ・すきっぷ保育園 ・保護者	クラス グループ	道徳「新しい日本に－りようまの心」 「小さな連絡船ひまわり」
	○単元のまとめ		個人	

6 本時案

(1) 本時の目標

自分たちの考えと地域の人の思いを両方大切にして、今後の活動について考えたり判断したりすることができる。

【思考・判断・表現】

(2) 展開

	学習活動と内容	指導と支援 (○)、評価 (☆)、評価方法 ()
2分	1 前時の学習を振り返る。	○前時の学習を振り返り、本時でやることについて確認する。
4分	2 地域の人の思いを知る。 <地域の人の思い> セーフティウォッチャーの蛭名さん	○事前に教師が地域の人にインタビューをし、地域への思いについて抜粋したものを提示する。
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>自分たちが将来どこの町に行っても大丈夫のように町づくりに関わってほしい。地域の人がどういう考えで行事などの企画をしているか聞いたり、楽しくおしゃべりしたりできると嬉しい。授業参観や発表会のような形ではなく、一緒に活動ができるようなものもいい。保護者同士、保護者と地域が関われるようなきっかけが欲しい。そのつなぎ役は君らしいかないと私は思います。</p> </div>		
<予想される児童の反応> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちにできることをやりたい。 ・地域の人の思いも取り入れて、これからの活動を考えていきたい。 		主発問① 地域の人の思いを知ってどう思ったかな？
1分	3 学習課題を確認する。	自分たちの考えと地域の人の思いを両方大切にして、これからの活動について考えよう。
3分	4 評価基準を見て、本時での自分の目指す姿を決める。	○ルーブリックの中の本時の評価に関わる部分のみを提示する。 ○それぞれの評価基準について簡単に説明し、児童が本時の学習を通しての目指す姿がイメージできるようにする。

<p>28分</p>	<p>5 視点をもとに、どの活動をこれからのクラスの取り組みとして行っていくかを全体で話し合う。</p> <p><活動案></p> <ul style="list-style-type: none"> ・清掃活動 ・掲示板 ・施設に行く（遊ぶ、手伝う） ・パラスポ大会 ・交流会（遊ぶなどのイベント） ・祭り <p><予想される児童の反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・お祭りは楽しいけれど、うるさくて迷惑だと感じる人もいるんじゃないかな。 ・清掃活動は地域でやっているところも多いから、なぜその活動を始めたかなどのお話が聞けるよ。 ・幼稚園や施設に行って一緒に遊べば地域の人とのつながりができると思うよ。 ・交流会なら地域の人のお思いもくめると、深く関わることができるよね。 	<p>○視点に沿ってそれぞれの活動の比較ができるよう、マトリクスを用いて話し合いを進められるようにする。</p> <p>○それぞれの活動を視点に沿って見ていく際に、◎○△で表記し、話し合いの中で出た意見や、気付いたことなども書いていく。</p> <p>○「みんなが楽しめるか」「地域の人のお思いをくんでいるか」「地域の人とのかかわりが深いのか」の視点で話し合う。活動が1つに絞れない場合には、「活動場所が確保できるか」「準備期間は十分か」という視点を付け加えて考えられるようにする。</p> <p>○教師は児童の話聞いて、今後の活動を考える際のポイントになるような言葉を板書していく</p> <p>☆自分たちの考えと地域の人のお思いを両方大切にして、今後の活動について考えたり判断したりしている。 (発言)</p>
<p>主発問②</p> <p>話し合いが論点からずれてしまったとき→何のためにこれらの活動をやるんだっけ？</p> <p>3つの視点で比べて活動を絞れないとき→活動をするうえで他に必要なものは何かな？</p>		
<p>7分</p>	<p>6 リフレクタイムを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を振り返り、今後の活動に見通しが持てたかどうかを振り返る。 ・評価基準をもとに自己評価する。 	<p>○話し合いを終えて感じたこと、これからの活動に対して考えたことを振り返りに書くよう伝える。</p> <p>○話し合いを終えてもまだ悩んでいることや意見を聞きたいところがあれば、それも書いてよいことを伝える。</p> <p>☆話し合いを通して考えたことや、これからの学習への具体的な見通しについて記入している。</p> <p>(振り返りカードへの記入内容)</p>

<p>めあて</p>	<p>自分たちの考えと地域の人のおもいを両方大切に、今後の活動について考えたり判断したりすることができる。</p>
<p>S 期待する 活動以上</p>	<p>自分たちの考えと地域の人のおもいを両方大切に、それぞれの活動案を視点に沿って比較しながら、<u>友達と意見を交流させて</u>、今後の活動について考えたり判断したりすることができる。</p>
<p>A 十分満足 できる</p>	<p>自分たちの考えと地域の人のおもいを両方大切に、<u>それぞれの活動案を視点に沿って比較しながら</u>今後の活動について考えたり判断したりすることができる。</p>
<p>B 概ね満足 できる</p>	<p><u>自分たちの考えと地域の人のおもいを両方大切に</u>して、今後の活動について考えたり判断したりすることができる。</p>
<p>C 努力を 要する</p>	<p><u>自分たちの考えか、地域の人のおもいからのどちらかの立場からしか</u>、今後の活動について考えたり判断したりすることができない。</p>

